

香美町ならではの 教育の挑戦

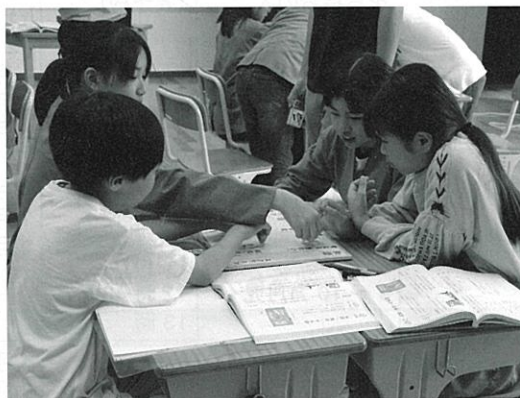
■問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

学校間スーパー連携チャレンジプラン

～小規模小学校の挑戦～

本町では、近年の著しい少子化を背景に小学校などの再編を進めていますが、小規模小学校においては、平成25年度から「香美町学校間スーパー連携チャレンジプラン・学力向上ステップアップ授業」を立ち上げ、小規模校のマイナス面であるといわれる、人間関係の固定化・序列化や社会性の不足などの課題を克服するため、学校単位でグループを作り、その学校間で連携を推進し、小規模校同士が合同で効果的な多人数指導と少人数指導を実践してきました。

各グループ内の学校の同学年同士が1カ所に集まり、小規模校単独ではできない多人数授業を実施。対話やグループでの話し合い、ペアやグループでの共同作業など多様な形態を工夫し、学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く学習する「主体的な学び」、大勢の前でも自分の思いや考えを話し、仲間の意見を聞いて課題を解決できる「対話的な学び」、知識を相互に関連付けてより深く考える「深い学び」の授業を展開してきました。



▲グループのみんなで考えて答えを導き出す
(柴山小・長井小・余部小5年)

～チャレンジプランの成果～

この取り組みにより、小規模校であっても、集団での多様な学びによるコミュニケーション能力の育成や、中1ギャップの解消など大きな成果を上げてきました。

昨年度に行ったアンケートでも、チャレンジプランを「楽しみにしている」「まあまあ楽しみにしている」と回答した児童は全体の92.4%を占めており、多くの児童が意欲的に取り組んでいる様子うかがえます。また、チャレンジプランを経験した中学生の66.2%、保護者の65.5%は「新しい友達との出会いや仲間づくり」に効果を感じており、チャレンジプランを経験した中学生の39.2%、保護者の46.1%は「さまざまな考え方に触れること」に効果があったと回答しました。多人数による「主体的・対話的で深い学び」の授業を通して、コミュニケーション能力が着実に育まれていると見て取ることができます。



▲チャレンジプラン最初の授業で仲間づくり
(村岡小・小代小2年)

～チャレンジプランの今後～

このように成果を上げてきたチャレンジプランですが、近年は一学年の児童が1人や0人となる学校もあり、取り組みを始めた頃のような多人数授業を維持することが難しくなっており、香住区では学校再編により本年4月に小学校が1つになったため、チャレンジプランは役割を終えることになりました。村岡・小代区では4校間交流によりチャレンジプランを継続し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図り、本年度は各学年とも年間約5回、約15時間の授業を実施する予定です。令和10年4月に向けた村岡区の3小学校の再編も見据えながら、学校再編による新しい教育環境にも臨めるよう努めます。